

# 令和元年度 第1回さいたま市民大学運営委員会 議事録

## 1 開催日時

令和元年7月31日（水） 午前10時00分から11時30分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 9階 学習室1

## 3 出席者

〈委員：10名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 安藤 陽 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 五十嵐 裕子 委員
- ⑤ 岡崎 滋 委員
- ⑥ 桑原 静 委員
- ⑦ 寺田 道子 委員
- ⑧ 平田 利雄 委員
- ⑨ 堀尾 健一郎 委員
- ⑩ 山崎 秀雄 委員

〈各生涯学習施設職員：3名〉

- ① うらわ美術館職員
- ② 市立博物館職員
- ③ 大宮西部図書館職員

〈事務局：7名〉

生涯学習総合センター

- |              |       |
|--------------|-------|
| ① 館長         | 吉田 治士 |
| ② 参事兼副館長     | 中村 和哉 |
| ③ 参与         | 野崎 隆史 |
| ④ 主幹兼事業・企画係長 | 荻原 唯史 |
| ⑤ 事業・企画係主査   | 榎 進吾  |
| ⑥ 社会教育指導員    | 伊藤 紀子 |
| ⑦ 社会教育指導員    | 渡邊 京子 |

## 4 欠席者名

〈委員：1名〉

① 難波 陽子 委員

5 協議事項

- (1) 平成30年度さいたま市民大学実施結果について
- (2) 令和2年度さいたま市民大学各コース(案)について

6 配布資料

事前配布資料

- (1) 平成30年度さいたま市民大学実施結果について
- (2) 令和2年度さいたま市民大学各コース(案)について
- (3) 運営委員会等のスケジュールについて

当日配布資料

- (1) 令和元年度第1回さいたま市民大学運営委員会次第
- (2) さいたま市民大学運営委員会委員名簿
- (3) 令和元年度第1回さいたま市民大学運営委員会席次表
- (4) 平成31年度さいたま市民大学募集案内
- (5) さいたま市民大学市民企画コース講座企画案募集チラシ
- (6) 平成31年度さいたま市民大学実施予定について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 協議内容

各委員への委嘱状手渡しのうえ、委員長、副委員長を選出後、協議事項を検討。

協議事項 (1) 平成30年度さいたま市民大学実施結果について

平成30年度さいたま市民大学実施結果について生涯学習総合センター、大宮西部図書館、市立博物館、うらわ美術館より説明後、協議事項を検討。

|           |   |
|-----------|---|
| 青木委員      | 抽選方法は完全抽選か、あるいは年代の数に比例した当選となっているのか。(完全抽選だと、受講者の平均年齢と応募者の平均年齢が大幅に乖離する可能性がある。講座がどの層にヒットしたのか、応募が多数だった場合には応募者全体の動向を知りたい。) |
| 榎事業・企画係主査 | 完全抽選。応募者の平均年齢については、貴重なご意見であり、集計準備が出来るようなかたちを取りたいと考えている。   |
| 山崎委員      | 市民大学は生涯学習を広めていくという理念でコースを運営している   |

|          |  |
|----------|--|
|          | <p>が、リピート率の統計は取っているか。今後参加者を広げ周知していくうえで、若い人から申し込みがあったら優先順位を上げてもいいのではないかと個人的には思う。高齢者の参加が望ましくないというのではなく、参加する時間に恵まれている人と時間がない中で応募してくる人を同列で考えるのもいかなものか。市民大学の理念に照らし今後やっていくうえで、どちらが対象なのか。</p> |
| 吉田館長     | <p>さいたま市民大学は幅広い年齢層の参加を目指していきたいと考えているので、若年~中年層への参加拡大に取り組んでいきたい。シニアユニバーシティとは参加者の対象年齢が異なるので差別化を図っていく。</p>   |
| 神保委員長    | <p>人生100年時代と謳っていると、若年化を図りつつアクティブシニアをどうするかという両方の問題がある。抽選方法など検討の余地あり。</p>  |
| 青木委員     | <p>すべての講座が同じやり方でなくてもよく、講座や申し込みの実態に合わせて柔軟にやっていけたらよいと思う。</p>   |
| 平田委員     | <p>30年度全体を見ると、男女比、年齢比など、バランスがよい方ではないかと思う。「教養Bコース 超高齢社会はこわくない！」の反省や、意外と市民の関心が高そうな地元の文化コースなど、再度検討するとよいのではないか。</p>  |
| 岡崎委員     | <p>さいたま市民大学実施結果の一覧表に倍率や受講者の平均年齢が書かれているが、これの目標はあったか。</p> <p>一覧表の3ページ目右上「講座参加」で、「初めて」とそれ以外で半分ずつに分かれている。2回目以降の人が参加していない理由や逆に参加している理由を調査する必要があると思う。</p>                                    |
| 中村参事兼副館長 | <p>さいたま市の総合振興計画で全コースの延べ参加者数で、昨年度は3,500人という目標が設定されていた。合計が4,683人なので、結果としては良かった。</p> <p>昨年度の講座参加者アンケートでの満足度目標は93%だったが、残念ながら若干届かなかった。</p>  |

#### 協議事項（2）令和2年度さいたま市民大学各コース(案)について

令和2年度さいたま市民大学各コース(案)について生涯学習総合センターより説明後、協議事項を検討。

|      |  |
|------|--|
| 桑原委員 | <p>パソコンコースについてだが、たぶんいつも倍率が高く人気があるので、毎回エクセル、ワード、パワーポイントの3大構成としていると思う。シニアユニバーシティもそうだが、シニアがパソコンをやりたいとなると、ワード、エクセルしかないのそこに通っているという状況がある。ワード、エクセルは就職活動に関することでない普段あまり使うことがないと思うので、もう少し生活に密着したパソコンスキルによ</p> |
|------|--|

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>うなものを学ぶコースも作った方がよいと思う。</p> <p>最近の声の中に、まもなく銀行の通帳がなくなったりして、生活に本当に困難をきたすのではないかという危機感があるので、その辺をフォローしてあげたい。</p>  |
| 吉田館長      | <p>前任の ICT 政策課長のときに同じ事をずっと考えていたのだが、今シニア層でスマホを使いたい人がとても多く、スマホ講座を開催すれば集まる。難しいのは、iPhone と Android のバージョンによって使い方が全く違い、機種を揃えるのが難しく、それで中々実現出来ない。ただ、ワード、エクセルはかなり充分というところもあるので、課題として再度研究させていただきたい。</p>             |
| 楨事業・企画係主査 | <p>実際の生活に即した内容ということでは、例えばワードの講座ではチラシの作成などを行っている。エクセルの講座では家計簿を作ることもしている。</p>  |
| 五十嵐委員     | <p>新しく旅行とか交通を打ち出したというのは、とても興味深い。</p> <p>他施設との連携で科学、文学、歴史、美術はあるが、音楽はない。音楽の設定は難しいか。</p>  |
| 中村参事兼副館長  | <p>検討させていただく。</p>  |
| 青木委員      | <p>教養 I、II が平日になるということならば、託児をつけることを検討したほうがいい。育児層の囲い込みということで、託児があれば参加しやすくなる。</p> <p>募集の書き方によっては生業としてスキルを身につけたい人が対象と取られかねないので、開催時期も考慮しつつ、どの層に向け何をしたいのかを明確にし、それに合わせたような文言や見せ方をすると、その層に響くのではと感じた。大変期待している。</p> |
| 平田委員      | <p>ビジネススキルコースの件、30年度に MBA の企画で立ち上げ、今回3回目なので工夫と、中身と表看板が違っている部分のすり合わせが必要だと思う。</p> <p>交通・旅行の件、旅行だからと言って交通に限らず、飛行機、船、鉄道の使い方についての講座を具体的で親しみやすい書き方で募集するとわかりやすいと思うので、そういう方向で検討するとよい。</p>                          |
| 安藤副委員長    | <p>交通・旅行の件、以前、市民企画の時に観光ボランティアの人たちの企画にあったが、残念ながら採用されなかった。</p> <p>来年はオリンピックで外国人も来るので、開催時期が遅れることのないように、埼玉に関わるところで観光ボランティアの人達に企画をしてもらうのはどうか。自分たちも埼玉の中でどこに行くとか、外国人に対してどういうところがお勧めとか。</p>                        |
| 吉田館長      | <p>交通・旅行を企画したのは私で、公募の面接時に、旅行をテーマにしたらよいという受験者が4名いた。貴重なご意見を企画に反映させたい</p>   |

|              |   |
|--------------|---|
|              | と思う。  |
| 神保委員長        | 本件、インバウンドの話だと思う。実は今年3月に、観光協会と協同で、イギリス人2名に、埼玉の盆栽、人形、氷川神社などを案内した。その2人は、埼玉は観光しやすい街という印象を持たれ、東京に戻った時に、埼玉で素晴らしいものをたくさん見て日本の文化は全部感じたので東京での観光は不要とおっしゃる程だった。埼玉の良さを外国人の方々を通して再認識した。  |
| 岡崎委員         | 本日の議論は各コースの内容についてではなく来年度のコース設定についてであるので現時点この12コースで考えて行くということではないか。それより昨年度の実績評価を受けたかたちでの来年度の企画となるので、昨年度の何をどう反省したから来年度はこうしていきたいという話がないと、唐突感が否めない気がする。特に交通・旅行は個人的には興味深い、何故これが出てきたのかよく分からない。  |
| 神保委員長        | 限られた時間で意見をいただきながら進めていたが、初めての方には違和感を感じる部分もあったかと思う。流れについて事務局からお話ただけか。   |
| 荻原主幹兼事業・企画係長 | 流れとしては、以下のようになる。<br>1. 協議事項(2)のこの表で、来年度コースの大枠を事務局案として提示する。前年度と同様のもの、前年の結果を踏まえて講座のコンセプトを入れ替えてやるもの、新しいものが入っている。さらに、4番目の科学コースから美術コースについては、生涯学習部内での施設連携で毎年進めており、施設ごとに前年度の内容を踏まえて企画を出してくる。<br>2. 今日いただいた大枠についてのご意見を反映し、現在未定となっているところを肉付けし、2回目に案としてご提示し、ご意見を頂戴する。 |
| 神保委員長        | 時間の制約上、全ての結果を振り返るのが難しい中で、次の市民大学案を決めていくときにも前回の結果をそれぞれが踏まえて意見を出していくことになると思う。<br>いかに身近に感じられる企画が出来るか、幅広い方にご参加いただけるかを考えつつ、ある程度決まっている中で出来る限り入れ替えや組み換えをして決めているようなので、大枠案としてこちらで進めさせていただくと認識している。あとは、今いただいた意見をもとに、さらに検討していくことになるかと思う。                                |

10 その他（平成31年度さいたま市民大学実施予定について、運営委員会等のスケジュールについて）

平成31年度さいたま市民大学実施予定、および運営委員会等のスケジュール、および次回会議が11月開催で若干時間があるので各委員より8月、9月頃に書面での意見をいただく旨を生涯学習総合センターより説明後、協議事項を検討。

|           |   |
|-----------|---|
| 安藤副委員長    | 第2回開催は11月だが、我々委員としては10月中旬の市民企画案についてのプレゼンテーションで1日、出てくる案によっては時間をかけてプレゼンテーションがあるということか。10月半ばのところは重要になるという認識。   |
| 榎事業・企画係主査 | 5月27日から8月26日で講座企画案募集という案内を用いて団体の募集をしている。<br>10月中旬に、申し込み団体に講座内容をプレゼンテーションしていただく。その際、委員の皆様はプレゼンテーションを見ていただき、事務局で用意した各項目に点数をつけていただきたい。委員の皆様の評価を、事務局がプレゼンテーション、最終的には一案を決定する判断材料にさせていただきたいと考えている。<br>時間帯はこの募集中講座の申し込み件数によって大きく変わるので、時間等は後程改めて通知する。 |

事務連絡ののち閉会。

次の開催については、後日事務局より連絡する。

11 閉会